

刑法犯・性犯罪等の発生状況 (6月末)

平成23年7月15日

県警察本部

1 刑法犯の認知状況

(1) 認知状況

	平成23年	平成22年	増	減
	6月末	6月末	件数	率
刑法犯	7,612	8,830	-1,218	-13.8%
街頭犯罪等	4,120	4,740	-620	-13.1%

- 6月中は1,444件、前年同期比-284件、16.4%減少
 - ・ 6月中、6月末ともに過去10年で最も低い件数

(2) 主な特徴

○ 主な増加手口

- ・ 空き巣588件（前年同期比+263件、+80.9%）
- ・ 出店荒し156件（前年同期比+57件、+57.6%）
- ・ 侵入窃盗その他128件（前年同期比+81件、+172.3%）
- ・ ATM被害合計34件（前年同期比+34件、前年同期の発生なし）
すべて浜通り方部で発生

○ 主な減少手口

- ・ 自転車盗、万引き、車上ねらい、自販機ねらいが大幅減少
4手口の認知合計2,682件、前年同期比-947件、-26.1%

※ 振り込め詐欺認知8件（前年同期比-16件、一約2,960万円）

- ・ オレオレ4件（400万）、架空請求2件（約115万）、融資保証金1件（約418万）、還付金等1件（約90万）
6月中の認知は、架空請求詐欺1件、被害額約24万円

2 性犯罪等の認知状況

(1) 認知状況

	認知件数			
	平23（6月末）	平22（6月末）	増減数	増減率
強姦	5	5	0	0.0%
強制わいせつ	25	48	-23	-47.9%
前兆事案	103	91	12	13.2%
声かけ事案	27	44	-17	-38.6%
13歳未満	20	22	-2	-9.1%
13歳以上	7	22	-15	-68.2%
公然わいせつ	6	5	1	20.0%
その他	70	42	28	66.7%
合計	133	144	-11	-7.6%

(2) 主な特徴

- 前兆事案のうち公然わいせつとその他が増加
- 未成年者被害が依然として高推移（67人、65.0%、前年は69人、75.8%）
- 下校時間帯（13時～17時）の発生が44.7%、次いで中夜（19時～23時）が17.5%